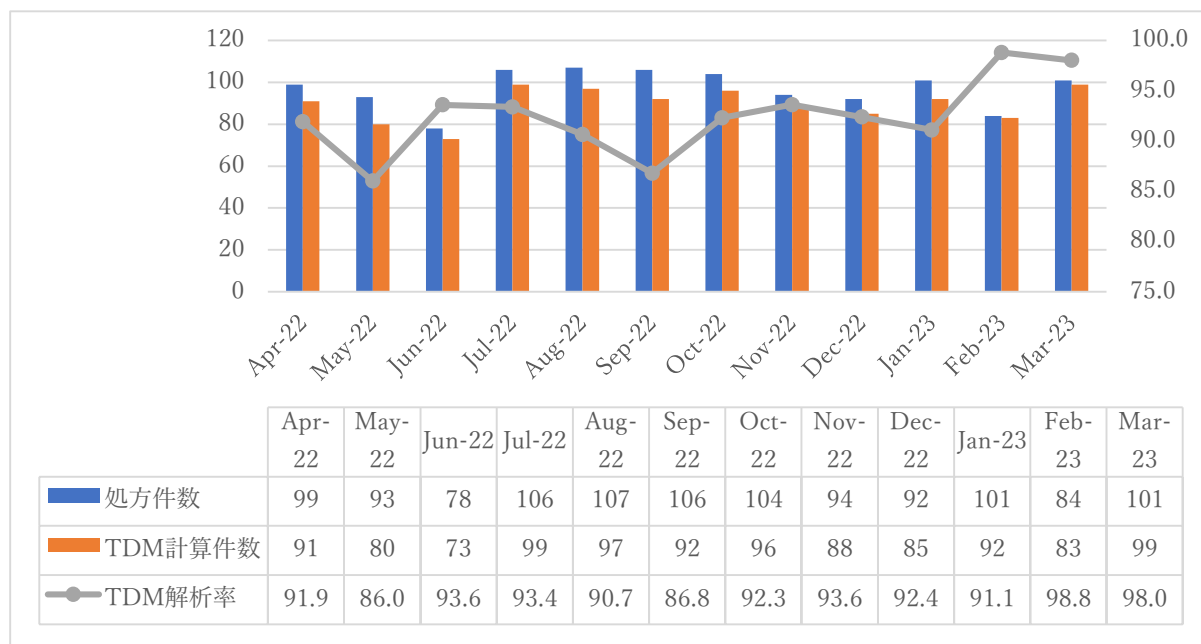


抗 MRSA 薬 TDM 実施率



当院で採用されている抗 MRSA 薬はバンコマイシン (VCM)、テイコプラニン (TEIC)、ダプトマイシン、リネゾリドの 4 剤で、アミノグリコシド系のアルベカシンは採用していない。このため、TDM の対象となる抗 MRSA 薬は VCM と TEIC の 2 剤となる。

2022 年 4 月から 2023 年 3 月にかけて行われた、VCM と TEIC の TDM 解析率をグラフに示した。

方法として、

月毎に VCM または TEIC を投与された患者を電子カルテから抽出し、このうち、オーダー回数が 2 回未満の患者を除外して分母とした。分子には TDM が実施され、処方設計を行った患者数を用いて TDM の実施率を計算した。

月当たりの使用患者数は平均で 97.01 人 (78-107 人)、
TDM 解析を実施した患者数は平均で 89.6 人(73-99 人)、
TDM 実施率は平均で 92.4% であった。

抗 MRSA 薬については AST、薬剤部の積極的な介入が行われ、抗菌薬適正使用が実施されたと予想される。

データ提供：医療の質・安全対策部 感染対策室